

学校運営協議会議事録

校名	府立淀商業高等学校
校長名	高井 一男

開催日時	令和8年2月25日(水) 16:00 ~ 17:00
開催場所	会議室
出席者(委員)	委員 5名参加
出席者(学校)	高井校長、藤中教頭、矢野事務長、
傍聴者	なし
協議資料	令和7・8年度学校経営計画及び学校評価 大阪府学校教育審議会商業教育部会資料 学校教育自己診断結果
備考	

議題等(次第順)

- (1) 令和7年度学校経営計画及び学校評価について
- (2) 令和8年度学校経営計画及び学校評価について
- (3) 大阪府学校教育審議会商業教育部会について
- (4) 学校教育自己診断について
- (5) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 令和7・8年度学校経営計画及び学校評価について
 - ・相互に授業見学する教員が少ないのは、教科の内容についてコメントが難しい面があるからか。小学校であれば、頻繁に教員が見学を行い、意見交換を行っている。授業の進め方など、全般的な部分で意見を求めるような、設定を行うことも良いかもしれない。
 - ・教員の負担を減らすことが、必要である。
 - ・就職後の生徒と繋がりを持つことで在校生へアドバイスを受けることができる。就職後の悩みなどを聞くことで、今後のキャリア教育に役に立つと考える。
 - ・探究学習を進めるには、指導方法に難しい面があると思う。
- 大阪府学校教育審議会商業教育部会について
 - ・商業高校の学習内容がうまく伝わればいいが、1年生で難しく感じる生徒もいる。
 - ・まなび直しを行う学校が人気があるのも事実。
 - ・中学校での進路指導では、どのような学校に進学しても、頑張ることができる指導が必要と考える。
- 学校教育自己診断について
 - ・全般的な欠課としては、70%を割り込んで行くことはなかった。
 - ・授業見学する時間の確保が課題である。
 - ・探究学習を進めることで、教員の負担が増している部分があるのではないか。
 - ・AIを学習に活用することは、使い方、どう質問するかが重要である。
 - ・自己研鑽にAIを活用していることが多い。